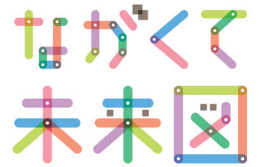


基づく新しいまちづくりが始まります



HPを見る 記事ID 9910
問 経営企画課 ☎56-0600

「ながくて未来図」の特徴

- 1 2050年という長期を見据え、行政主導のまちづくりから、市民と行政が協働する「**市民主体のまちづくり**」の実現に向けた**第一歩となる計画**として、策定しました！
- 2 10年後の目指すまちの姿を分野ごとに**7つの物語形式**でまとめました！
- 3 網羅的にあらゆる施策を位置づけるのではなく、**重点的な施策のみを位置づけ**ました！
- 4 今後10年間で、特に市として力を入れていく「**3つの方向性**」と、**優先的に取り組む「14の主要施策(全43施策の中から選定)**」を定めました！
- 5 進行管理を行うため、**計画体系ごとに指標を設定**しました！
- 6 具体的な事業については、5年間の行程を「**アクションプラン**」として整理しました！
- 7 10年後の目指すまちの姿を実現するために、**市民が取り組むものを「市民まちづくり計画」として整理**しました！



すこし詳しく!!

方向性Ⅰ 👉 一人ひとりに生きがいがあり、元気で活躍できるまちづくり

- 地域の担い手づくりの推進
- 高齢者に役割と居場所があるまちづくり
- 若者の想いを支える仕組みづくり
- 誰もが活躍できる地域づくり

方向性Ⅱ 👉 多様な人がつながり、支え合うまちづくり

- 地域における活動の場の整備と活用
- 子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進
- 地域の子育てネットワークづくりの推進
- 安心して子どもが過ごせる場の整備
- 暮らしを支える生活基盤の充実
- 市民による助け合い・支え合いの地域づくりの推進

方向性Ⅲ 👉 緑あふれる潤いのあるまちづくり

- 豊かな自然環境の保全・活用
- まちの緑の創出
- 水辺に親しめる環境の整備
- 良好な住環境の形成



次回5月号では、市民が基本構想を実現するために実行する取組をまとめた「市民まちづくり計画」について紹介します！